

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月31日

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C
横断的な課題	リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた取組の推進				
地域重点政策	リニアを活かすまちづくり				南信州地域振興局
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 商工観光課
事業名	サテライトオフィス等誘致に向けた研究事業			電話	8-237-2263
				E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	働き方改革の推進などにより、時間的制約を受けずに様々な場所で柔軟に働くテレワークが広まりつつある。テレワークの内容や現状を理解することで伊那谷地域における普及の可能性や取組を検討する。また、管内テレワーク施設等の認知度を高めるためにパンフレットを作成する。			
	現状と課題	伊那谷地域でのテレワークに係る本格的な動きはこれからであり、次のような課題が挙げられる。 (1)通信インフラ等の環境が未整備で事例がまだ少ないため、テレワークの現状がつかめていない。 (2)県の取組や支援制度の情報が関係者で共有されていない。			
	内容 (変更後の内容)	○伊那谷の各市町村及び広域連合で担当する職員を対象に、テレワークに対する理解を深め、伊那谷全体での取組が活発化するように講師を招き勉強会を開催する。※開催済 〈日時〉令和3年7月30日(金) 9時30分から11時30分 〈内容〉地域のテレワークを取り巻く現状について情報提供 講演会「テレワーク等の基礎知識と今後の可能性について」講師:大沢 彰氏 ○県内外の企業を中心に、管内のテレワーク施設及び支援制度等を紹介するパンフレットを作成して広くPRすることで、施設の利用促進を図る。			
	事業期間	令和3年7月29日		～	令和4年3月31日
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	テレワーク勉強会	テレワークの情報共有及び講演会	42,440		
	リーフレット作成	管内テレワーク施設等を紹介するリーフレットの作成	77,000	単価70円×1,000枚×1.10 (デザイン料込、A3両面カラー)	
	合計		119,440		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	アンケート調査による公演会の満足度調査		70%以上	93.8%	◎ 達成
	施設等へのリーフレット配布率		80%以上	90.4%	○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	(一社)日本テレワーク協会から講師を招へいし、テレワーク等の基本的な内容や全国的な現状を正しく理解する勉強会を開催した。 南信州管内及び伊那市、駒ヶ根市の市町村担当者など、35名が参加し、リニア中央新幹線の開通を控える伊那谷地域に対するテレワーク等の施策に係る取組の検討材料とすることができた。 管内のテレワーク施設をまとめたリーフレットを作成し、東京、名古屋及び大阪事務所並びに銀座NAGANO等に配布し、企業訪問時のサテライトオフィス誘致や移住・交流希望者に対する相談対応等に活用することができた。				

今後の方向性	次年度以降はテレワークに係る取組を更に拡充し、市町村と県とのプロジェクトチームによるサテライトオフィス・ワーケーション施設等の情報発信を検討
--------	--